ボーリング柱状図

調　査　名　潮音山東地区　急傾斜地崩壊対策事業に伴う地質調査等業務委託

事業・工事名　潮音山東地区　急傾斜地崩壊対策事業

ボーリングNo	4		2	.	5	2	3		A		

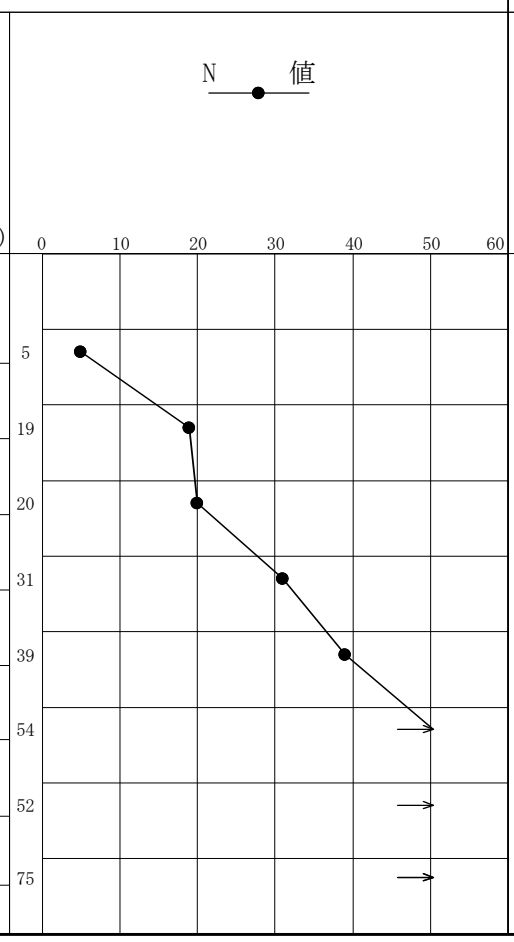
シートNo　1

ボーリング名	No.4+2.523 A	調査位置	尾道市瀬戸田町沢							北緯	34° 18’ 22.21”
発注機関	広島県東部建設事務所三原支所			調査期間	令和 2年 5月 28日 ～ 2年 5月 29日					東経	133° 5’ 18.19”
調査業者名	株式会社 山陽技術コンサルタント 電話（082-872-3422）	主任技師	小川充司	現場代理人	山根克臣	コア鑑定者	片桐祐次			ボーリング責任者	片桐祐次
孔口標高	H=30.34m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機	東邦D1-B48型	ハンマー落下用具	半自動落下型
総掘進長	8.00m								エンジン	ヤンマーNFD12型	ポンプ	東邦BG-3B型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
1	28.44	1.90	1.90		表土・粘土混り土	褐			表層0.3mは有機質土。 以下、粘土分を含む土砂よりなる。 細礫や岩粉を混入する。	
2 3 4 5	24.34	4.10	6.00		花崗岩・風化土	褐			岩級区分のDL～DM級に相当する、強風化花崗岩。 コアは土砂の柱状で採取され、軽い指圧にてマサ状に崩れる。 雲母は強風化により黄金色化し、所々に節理痕が見られる。 岩構造は一様に明瞭である。	
6 7 8	22.34	2.00	8.00		花崗岩・軟岩	褐			岩級区分のDH級に相当する、風化花崗岩。 コアは柱状で採取され、ハンマーの打撃によりマサ状に崩れる。 風化により雲母は黄金色化しているが、鉱物間の結束は非常に密な状態にある。 岩構造は上層同様に明瞭である。	

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1	2	2	5／30	5
1.45 2.15	4	7	8	19／30	19
2.45 3.15	5	7	8	20／30	20
3.45 4.15	9	10	12	31／30	31
4.45 5.15	9	13	17	39／30	39
5.45 6.15	13	22	15／8	50／28	54
6.43 7.15	12	19	19／9	50／29	52
7.44 8.15	22	28		50／20	75
8.35					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
						5／28
						5／29